

弘前のローカルヒーローたちを展示している企画展



# ヒロデザイナー参上!!

## 誕生の秘密 活動、制作工程紹介

来月31日まで

弘前

地域の魅力を再発見する企画展「地域をつくるキャラクターデザイナー」弘前のローカルヒーローたちが弘前大学資料館で開かれている。弘前大から誕生し、市内を中心に活動するローカルヒーロー「ヒロデザイナー」「お祭大将ヤーヤドン」のコスチュームなどを展示しているほか、これまでの活動やコスチュームの制作工程を紹介している。5月31日まで。入館料は無料。

(稲葉智絵)

今回で35回目を迎えた企画展「地域をつくるキャラクターデザイナー」は、同資料館と同大教養部デザイン研究室が主催。昨年誕生した同大オリ

ジナルのローカルヒーロー「ヒロデザイナー」の地域住民へのお披露目を兼ねて、テーマを弘前のローカルヒーローとした。地域独自のローカルヒーローが全国で続々と誕生し、地元を盛り上げるため活躍している中、弘前ねぶたまつりをモチーフに、同大の卒業生が卒業研究で制作した「お祭大将ヤーヤドン」が市内外のイベントなどで活動している。昨夏には、特撮ヒーロー好きの同大学生有志が立ち上げた公

認サークル「デザイナープロダクション」のメンバーによって、同大の前身「旧制弘前高等学校」の学生をモチーフにした「ヒロコウザ」と、現代の学生にパワーアップした「ヒロデザイナー」が誕生した。企画展では「地域をモチーフにする」「コスチュームをつくる」「地域の一部となって地域をつくる」の3部構成で展開。ヤーヤドンとヒロデザイナーのコスチュームのほか、それぞれの活動内容、コスチューム

の制作工程の写真やパズル、県内で地域の魅力を発信する活動を行う団体の代表らの寄稿文などを展示している。同サークルの小山秀晃代表(人文社会科学部4年)は「『大学から地域を元気にしたい』という思いで、メンバーが手作業で作った」とオリジナルヒーローの誕生秘話を明かし、「地域の魅力を伝え、元気を発信していくヒロデザイナーをぜひ見に来てほしい」とPRした。さらに今後の活動について「依頼があれば、どこでも駆け付けます」と呼び掛けた。

開館時間は午前10時～午後4時(最終入館午後3時半)。休館日は日曜日、祝日。問い合わせは同資料館(☎0172-33432)へ。

※この記事は陸奥新報社の提供です。

この画像は、当該ページに限り陸奥新報の記事利用を許諾したものです。

転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りします。

[問い合わせ先] 弘前大学資料館

jm3432@hirosaki-u.ac.jp